

劇的な逆転シュートで全国大会へ

## オーガ光陽台がフットサル全国大会に出場

フットサルチーム「オーガ光陽台」が、9月15日に宇美町で行われたJFA主催のフットサル大会九州予選で優勝し、全国大会(埼玉県で開催)へ駒を進めました。

予選決勝は0対0のまま延長戦へ突入。相手チームにペナルティキックを決められ1点を先制されましたが、残り時間3分で同点に追いつくと、その勢いそのまま残り時間30秒で劇的な逆転シュート。見事勝利をおさめました。

メンバーの春口さんは「福津市を全国にアピールできるような結果を残したい」と意気込みを語っていました。



▲全国大会へ駒を進めた「オーガ光陽台」のメンバー

平和への思いを多くの子どもたちに伝えたい

## 写真集を寄贈



▲金子教育長に目録を手渡した「夏の雲は忘れない」を観る会の皆さん

10月10日、「夏の雲は忘れない」を観る会が、市内の小・中学校10校分の写真集(トランクの中の日本 米従軍カメラマンの非公式記録)を市教育委員会に寄贈しました。

同会は今年7月に市中央公民館で原爆の悲惨さを訴える朗読劇「夏の雲は忘れない ヒロシマ・ナガサキ1945」を開催。平和への思いを広めたいという思いが今回の寄贈へとつながりました。

目録を受け取った金子教育長は、「大切な資料として使わせていただきます」と話していました。



発泡スチロールを組み上げて頭を製作(写真①) だまかに出来上がった頭部(写真②) 頭部を彩色(写真③) ペットボトルのうろこを1枚ずつ縫い付け(写真④) 福岡南小学校体育館で開催された運動会でお披露目(写真⑤)

あなたの周りの身近な出来事や  
話題をお寄せください。

# まちのわだい

〒811-3293(住所不要) ☎43-8113  
福津市役所広報秘書課 広報ふくつ

初代の意思を受け継ぎ再生

## 2代目の龍が完成しました

大和保育所の運動会に欠かせない龍踊り。その龍が製作からおよそ20年経って老朽化が目立ち、また頭部がかなり重く取り扱いが大変だったため、園児の保護者の発案で2代目の龍作りに取り組みとなりました。

軽量化するために材料として使用した発泡スチロールやペットボトルは廃材や使用済みのもので、環境にも配慮。園児の保護者や先生たちは、仕事を終えた後に連日のように保育所に集まり、パーツごとに分業して作業を進めました。

途中、運動会までに完成するか危ぶまれましたが、およそ1か月かけて見事完成。10月5日に開催された運動会でその勇姿をお披露目しました。

## 市民広報 ボランティア



## 心温まる「麻布絵作品展」

黒木恵美子さん(宮司ヶ丘区)の麻布絵作品展が9月10日から9月16日まで、遠賀信用金庫みやじ参道支店でありました。麻布絵とは麻布に描かれた絵という意味で、黒木さんが命名。絵の題材は季節の草花など身近なもので、細かな部分は実物を見に行ったり本で調べたりします。絵筆で丁寧に描かれた作品は下絵描き、染色、縫製といった緻密な作業を経て仕上がります。黒木さんにとって作品作りは、自由な発想で楽しむ大切な時間です。部屋に飾って眺めたいくなる、心温まる作品の数々でした。

【櫻井紀子】



## 子どものアレルギーについての講演会

子どものアレルギーについての講演会が9月7日、ふくとびあでありました。NPO法人福岡津屋崎子ども劇場のアレルギーっ子サークルパンキンの主催によるもので、講師は日本アレルギー学会専門医の手塚純一郎先生。アトピー性皮膚炎や食物アレルギーなどについて、詳しく丁寧に話されました。質疑応答の時間もあり、日ごろの悩みが軽くなったかたもいらしたようでした。参加者からは「とても分かりやすく勉強になった。今度はぜひそくについて聞きたい」などの感想が寄せられていました。

【下田弘美】



## 相撲の歴史を学び体幹を鍛える四股の体験

郷育カレッジ講座「相撲の歴史を学び四股を体験してみよう」が9月14日、神興東小学校でありました。相撲の歴史などの解説では、世界各地に同様の形態のものがあることや、古くから行われていた日本の相撲について紹介があり、続いて宮地嶽相撲クラブの小学生十数人と共に、参加者全員で四股、すり足、股割りの体験をしました。最後には11月の大相撲九州場所の前夜祭で行われる子ども土俵入りを披露。宮地嶽相撲クラブが担当する今年の土俵入りを、ぜひ見に来てくださとのことでした。

【吉村邦夫】



## 花見区敬老祝賀会

花見区の敬老祝賀会が9月15日、花見公民館で今年も盛大に催されました。副市長から祝辞をいただいた後、職員さんたちの楽しい余興や踊り、カラオケ、景品抽選会と皆さん楽しく過ごされました。

少子・高齢化が進み大変な時期になりましたが、高齢者のかたも戦後復興の中、大変な時期を過ごしてきました。その皆さんの必死の力で日本は世界の頂点に立ちました。未来のことは心配ですが、まだまだ過ごしやすい日本になってほしいですね。

【徳永孝志】



みんな大好き!

## わが家の宝

かわの かいと  
河野 海斗ちゃん

平成20年10月19日生  
花見4区

5歳おめでとう!!  
優しくカッコイイお兄ちゃん  
になってね。



### 募集しています

●広報ふくつでは「みんな大好き!わが家の宝」に登場してくれる1歳から4歳程度のお子さんを募集しています。●「10月号に載せて」という場合を除き、締め切りはありません。申し込みいただいた後の最新号に掲載します。●誕生日など、掲載号をご指定の場合は、誕生日の前月1日までに申し込みください。●お子さんのお名前・住所(行政区)・生年月日・お子さんのお気に入り(好きなものなんでも)に写真を添えて申し込みください。

申込・問い合わせ 市広報秘書課(福開庁舎) ☎43・8113

私にもできた!本格そば打ち

### 畦町でそば打ち体験



▲そばの打ち方を熱心に指導する西村先生

9月22日、畦町公民館で西村幸二先生を講師に迎え、そば打ちの体験教室がありました。主催は「唐津街道畦町宿の街並みを保存する会」です。

16人が生徒として参加。西村先生の丁寧な指導のもと、「二八そば」が完成。試食会では本格そばの香りと歯ごたえを楽しんでいました。

今回で3回目の参加になるという生徒は「だんだんとそば打ちのコツがつかめてきた。一人でも打てるようになりたい」と意気込みを言葉にしていました。

彫刻を津屋崎中学校に

### 津屋崎人形師原田彪さんが津屋崎中学校に彫刻を寄贈

津屋崎人形師の原田彪さんが津屋崎中学校に、自身で制作した彫刻作品「明日へ」を寄贈しました。

原田さんは「中国の荒れ果て砂漠化した土地に、日本の若い人たちが小さな苗木を植樹している様子をテレビで見ました。広い土地に緑の木が育つことを願って、暑い中汗を流し精進している若者の姿に私は感動しました。それで彫刻「明日へ」を制作しました」と話していました。



▲制作者の原田彪さん(左)と津屋崎中学校の横爪校長



▲子どもたちによる迫力のある三柱太鼓の演奏



▲稲刈りから天日干しまで体験しました

より多くの人へ商品券が届くことを願って…

### 福津の極み商品券 大抽選会開催



▲抽選する松岡副会長(左)と小田副市長(右)

9月30日、市商工会本所で、地域振興券「福津の極み商品券」発行に伴う抽選会が開催されました。プレミアム率10~20%でお得感たっぷりの商品券は、市商工会が販売し、毎年好評となっています。例年は販売日を設定して直接販売していましたが、今回からより多くの人へ公平に商品券を販売できるように、はがきによる事前申し込みから抽選を行う方法へ変更されました。

今年の販売部数は1万円分商品券を1万冊。2、3倍の競争率のもと、応募総数2,860通から厳正な抽選が行われ、当選者へ当選をお知らせしました。

あなたの周りの身近な出来事や話題をお寄せください。  
まちのわだい

コスモス満開、秋色まつり

### コスモスまつりが開催されました

10月12日に福津市の西郷川花園で毎年恒例のコスモス祭りが開催されました。満開のコスモスの中で、餅まきや稲刈り体験、太鼓の演奏、フラダンス、クイズラリーなどのイベントがありました。

餅まきでは、子どもたちははしゃぎながらも真剣なまなざしで、手をいっぱい広げていました。

稲刈りでは、子どもの小さな手にカマを握り、一生懸命に稲を刈り取っていました。

また、松ヶ枝餅や野菜の出店も並んでいました。JRウオークも開催され、市内外から多くのお客さんが訪れていました。

## 市民広報 ボランティア



### ふれあい運動会

大和2区のふれあい運動会が10月6日、福開小学校の体育館で開かれ、幼児からお年寄りまでたくさんの区民が参加しました。プログラムは全員が参加できる種目で構成されていました。私もラムネ早飲み競争に出場しましたが、飲み方は分かっているはずなのにやってみるとなかなかうまくいきませんでした。

メインプログラムの男女に分かれて競う綱引きは圧倒的に女性陣が強く、男性たちはほんやりしていました。過去にも男性が勝った例はないようです。

楽しい一日でした。

【山本武利】



年に一度のしめ縄作り

### 的原神社のしめ縄を作りました

10月6日、八並公民館で地元住民が約20人集まり、  
的原神社のしめ縄を作りました。

的原神社の秋祭りに間に合わせるために、毎年この時期に集まり、しめ縄を作ります。材料のわらは、しめ縄を作るために特別に育てられたものです。地元のかたがたは、慣れた手つきでしめ縄やお飾りを器用に作っていました。

ここ八並地区では、毎年2月28日に八並不動神社で年に一度の大祭があります。



▲しめ縄用に特別に生産されたわらを使って作る

430年以上続く直会

### 舍利蔵で「十月祭」が行われました



▲とびきりうまい料理が並びます

毎年10月18日は、舍利蔵で「十月祭」が行われます。718年に名僧行基が開基したと言われていたことから、「行基祭」とも呼ばれています。今年も勝宝寺にお参りをした後、公民館で直会が営まれました。天正3年(1575)より430年以上続いているお祭りです。

座を仕切る人の氏名などが記録された祭座帳は、農村祭祀の民俗資料として、昭和44年、福岡県の有形民俗文化財に指定されています。

舍利蔵自然林は「福岡県の自然100選」に選ばれた地域です。

五穀豊穡・家内安全を祈って

### 市内各地で秋祭りがありました



▲9月15日に行われた豊山神社の秋祭り。今年は天候に恵まれ、獅子舞や大名行列などの演技が3年ぶりに松原浜など屋外で披露されました。



▲9月9日に行われた金刀羅神社の秋祭り。県内で最も早く行われる秋祭りです。五穀豊穡を祈願して在自区から津屋崎の町部へ大名行列が練り歩き、要所で獅子舞が披露されました。



▲9月21日～23日に行われた宮地嶽神社の秋季大祭。21日の御神幸行列では、民放テレビ局アナウンサーの伊藤舞さんを「祭王」に招き、神社から宮地浜までの真っすぐの道のりを、たくさんの方が列をつくり遊幸しました。



▲9月13日に行われた鏡殿神社の秋祭り。五穀豊穡を願って、みこしを中心に笛や太鼓の奏楽で奴山区を行列行進しました。途中の奴山川ではお清めの神事も行われました。(写真提供:広報ボランティア有古敏高さん)



▲9月26日・27日に行われた諏訪神社の秋祭り。26日には、神社本殿で神事の奉納が行われました。また、27日には境内にある土場で、地域の小学生たちが参加した地区対抗の奉納子ども相撲大会が行われました。



▲10月6日に行われた波折神社の秋祭り。一般的には「おくんち」と呼ばれています。御神幸行列が笛や太鼓などを鳴らしながら、にぎやかに市内を回りました。

おたより  
寄せちゃってんしゃい  
お便りを送ってください

自由投稿コーナー「聞いてちゃってんしゃい!ふくつ便」では、皆さんからの自由な意見・要望・談話などを投稿・紹介しています。福津市をもっと住みよく、もっと楽しくするためには皆さんの声がとても重要です。皆さんのさまざまな話をお聞かせください。お待ちしております。※記事の都合により、掲載できないことがあります。

※きりとり

POST CARD

お手数ですが  
50円  
切手を  
お貼りください

8 1 1 3 2 9 3

フリガナ

◎ 氏名

◎ 年齢 歳 ◎ 性別 男・女

◎ ペンネームまたはイニシャル

※記載がない場合は、実名での記載とさせていただきます。

◎ 住所

◎ 電話( ) -



点線に沿って切り抜き、  
必要事項を書いて、  
必ず切手を貼って  
投稿してください。



福津市役所広報秘書課  
広報広聴係 行